

11月は児童虐待防止推進月間です

「見逃さないで子どものサイン」

なくそう！児童虐待

全国的にも大きな社会問題となっており、実際に多都市でも虐待案件が発生しました。児童虐待は、社会全体で解決すべき問題でもあります。このため多都市では、児童虐待予防・防止、そして早期発見ができる相談・通報体制を整えています。地域みんなで子どもたちを守りましょう。

子どもへの虐待に関する相談件数は、依然として増加傾向にあります。報道などでもご存じのように、尊い幼い命が奪われるなどの痛ましい事件も発生しています。

このため、児童虐待は、社会全体で早急に解決すべき重要な課題となっています。

「おやつ？と思った
らまず通報を！」そこから始まりです。



平成29年度
児童虐待防止標語
いちはやく
知らせる勇氣
つなぐ声

みんなの力で子どもたちを守ります

おやつ？と思ったらまず通報を！

- 佐賀県中央児童相談所へ相談・通報 ☎26-1212
- 多久市役所へ相談・通報
- 相談 健康増進課 健康増進係 ☎75-3355
- 通報 福祉課 こども係 ☎75-6118
- 小城警察署への連絡 ☎73-2281
- 児童相談所全国共通ダイヤルへ相談 ☎189

在宅の子どもや親への支援と予防

- 関係機関の実務者検討会の開催
- 保健・福祉サービスの利用や助言
- 関係機関による子どもと親への支援

子どもの自立・家庭機能の回復

問い合わせ

福祉課 こども係 ☎75-6118

健康増進課 健康増進係 ☎75-3355

教育長コラム

ちょっといい話



「せんせー」

20数年ぶりに偶然見かけて飛びついてきた教え子。行方を捜していたので嬉しかった。彼女には、10代の頃のまばゆい美しさや尖った光はなく、苦労が滲み出ていた。

後日、改めて会った。荒れた10代、再婚、突然亡くなった娘が残した孫を育てていることなど、中学生に戻ったかの如く矢継ぎ早に話をしてくれた。辛さを乗り越え頑張ったことや、孫を育てていることを女性同士として褒めた。別れてからメールをもらった。

「こんな私が「せんせー」って言うのと笑顔を返してくれる人がいることがとっても幸せなのだ、と先生と再会して初めて気がつきました」

私は感激して涙した。

教育長 田原 優子

市民文芸

一人では生きていけないそれなのに
いつも自分を中心に置く

長病みにか弱くなれる友の身の
細くなりしを言わずに帰る

東北の四大祭りの旅に出る
介護離れてしばしの至福

いつよりか大家族なるわが家より
子や孫巣立ち 秋の風吹く

六時半タぐるる空に 飛機の雲
北から南へ 東から西へ

昼の虫どこに潜むかひとしきり
出合ひては又別れゆく

菊の花葉の色よきを選びけり
敬老日朝一番のスクワット

行く秋の割木の匂ふ陶の里
敬愛

可愛い子旅させ親は井の蛙
深い茶を一口飲んで 苦言聞く

海を越え旨いと酔わす 佐賀銘酒
六人を育てた母の大きな手

太平の世に生れ来て 古希祝う

川柳 《多久市川柳会 互選》

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

俳句 《互選》

川柳 《多久市川柳会 互選》